

第 1 回新宿駅周辺地域まちづくり協議会の主な意見

(平成 29 年 7 月 24 日開催)

○駅前広場について

- ・地下の東西自由通路から駅前広場に出て、地下と地下、地下と地上がつながることは必要なこと。一個人ではなく地元皆の意見として話す上では、どういう広場でどういう形状になるのか、具体的な絵柄があると地元にとってはイメージしやすい。

○歩行者ネットワークについて

- ・東西がつながることは良いこと。実現には鉄道事業者と都の協力が不可欠である。
- ・新宿の魅力を出していくためには、もう少し広いレベルで新宿御苑から新宿中央公園のつながりと、その中でも駅前広場がどうなるかの議論が重要である。
- ・歩行者優先の新たな都市基盤で、新宿駅と超高層街区をつながりの強化を期待する(駅前広場と 4 号街路、3 号街路・プラザ通り、5 号街路の接続を強化)。

○顔づくりについて

- ・駅が見えなくてわからないので、誰にでもわかりやすい駅にしてほしい。駅前で「駅はどこか？」と聞かれる。

○その他

- ・都市機能の面で駅とまちの連携を高める仕組みを構築し、駅に集う多様な人をまちへと引き出していけるとよい(様々な情報発信や大規模イベントの実施など)。